

みうらトーク&トーク 平成24年度第1回

日 時 平成 24 年 7 月 20 日 (金)
19 時 00 分～20 時 10 分

参加者 初声区長会 38 人

テーマ

「初声地区のインフラ（道路・防災等）整備」



＜意見交換（概要）＞

● 市営住宅

市民 内込の市営住宅ですが、最近、1棟取り壊しましたが、これは建替えでしょうか、取り壊しただけでしょうか。

市長 老朽化が進み、建物倒壊の危険があるので取り壊しました。

なお、将来的な市営住宅の計画がありますが、次の総合計画の中に織り込んでいく予定です。

● 財政一般について

市民 財政をよくするためのお考えがあればお聞かせいただきたいと思います。

市長 予算がないから出来ないということではなくて、どうしたらできるかということを考える、という取り組みをしています。

人命にかかわることなど、危険に応じた対応などは優先的に行っていきますので、ご理解をいただきたいと思います。

市民 歳入確保策、歳出削減策は、具体的にはどのようなことをしているのでしょうか。

職員 人件費の見直し、土地の売却、自動販売機設置、広告による収入のなどに取り組んでいます。

市長 未収金の回収の強化にも取り組んでいます。今年は、これまでできなかった農地の公売も、初めて行いました。

● 市道 1 8 9 2 号線について

市民 市道 1 8 9 2 号線の市道 1 7 号線との交差点から白幡神社方面には排水溝がない状態です。雨天時には道路に泥水があふれています。対応いただきたく願います。

職員 この場所ですが、水田から畑に土地利用方法が変わり、道路部分が低くなったことにより、部分的に水はけが悪い状態となっています。土地改良区と協議し、進めたいと思います。

● 初声小の学童保育周辺の歩道について

市民 初声小の学童保育周辺の歩道が整備されていませんが、今後整備されるのでしょうか。

職員 先ほどの件と共に整備を進めてまいります。

● 市道 1 7 号線について

市民 三戸地区に通じる市道 1 7 号線ですが、何の整備もされず崖から落石がある状況です。この道路は通学路にもなっているので対応していただくようお願いします。

職員 この部分については、地権者との交渉の前段階であります測量から準備に入りたいと思います。

● 市道 1 0 号線赤坂切通し部分について

市民 市道 1 0 号線の赤坂切通し部分ですが、坂になっており、見通しも悪く、交通量も多く、降水時に土でタイヤが滑り事故が起きています。地元の有志が重機で土砂を搬出している状況です。早めに整備をしていただきたいと思います。

市長 順次取り組ませていただきたいと思います。

● 和田唐池地区の排水路の浚渫計画について

市民 唐池地区の排水路について、周辺が冠水しないようにお願いします。

市長 この排水路については、市としても大きな課題として取り上げております。最終的に下水道が普及することが解決だと思います。これからの下水道の計画は練りなおしているところですので、ご理解いただきたいと思います。

● 都市計画税について

市民 都市計画税は、どこに反映されているのでしょうか。

職員 都市計画税は、都市計画決定し、都市計画事業認可を受けたものにしか使えないものです。現在この事業は公共下水道事業のみですので、公共下水道事業に都市計画税は使わせていただいております。ただ、全部を下水道事業に使うのではなく、将来の都市計画事業に備え、都市計画事業整備基金の積立に使っています。

● 下宮田公園のすべり台について

市民 下宮田公園のすべり台について、新しい遊具はいつ頃できるのでしょうか。

職員 下宮田公園のすべり台については、このまま戻すのか、替えたほうがよいのか、関係者の意見を聞いてお答えしたいと思います。

● 三崎高校跡地利用について

市民 三崎高校跡地に消防署を建設するということですが、その後の方針は決まっているのでしょうか。

市長 市が直接投資して市民交流拠点として再整備をしようとするのはなかなか難しい状況ですので、たとえば民間から計画を提案していただいて、そのなかに市の条件である市民交流の場所、図書館などを織り込んでいただくということを考えています。たとえば市民交流センター、図書館、消防署などを集約して作って、それ以外のスペースを民間で活用していただくということを考えています。民間が建物を建て、市が借りるというイメージで、市の直接的な初期投資を抑えようというような計画です。

9 月頃に公募をかけて年内か来年の 3 月くらいまでに結論が出ることになります。

● 環境（河川の水質）について

市民 少し前に一番川に魚が浮いたという話がありましたが、その原因などがわかる部署は市役所にあるのでしょうか。

職員 担当は環境部環境課です。規模が大きくなると県も関わってきます。

まず、現地でサンプリング調査を行い、県の分析機関で調査を行います。

今回の場合は、農薬等の物質は発見されませんでした。このことは県のホームページにてお知らせしています。

● 防災無線について

市民 昨年の計画停電の情報が防災無線で流れたとき、ほとんど聞こえませんでした。山間部なので防災無線が入りにくいと市に電話したところ、検討しますとのことでした。市のほうで防災無線が入りにくい場所を把握していただけたらと思います。

職員 現在市内に99本の防災無線があります。

風向きによっては聞き取れないなどの現状は認識しております。

各地点の状況にあわせて、300メートル先まで音が届くストレートホーン、音が90度の角度で広がるレフレックスホーンを、方向を調整して設置していますので、聞き取りにくいなどの状況があればその都度その地点を確認し、調整をさせていただきます。

市民 防災無線の音が反響して重なって聞こえなくなることがあります。

職員 言葉と言葉の間隔を開けて、反響しても聞き取れるように放送しています。

● 防災メールについて

市民 防災メールとは何ですか。安全安心メールとは違うのですか。また、災害テレフォンサービスとはどのようなシステムですか。

職員 防災メールは、防災無線で放送したものと同様の内容をメールで配信するものです。安全安心メールと別のサービスですが、同様のシステムです。市ホームページ、広報紙、各種イベント時、三浦海岸、三崎口の両駅でのチラシ配布で周知を行っています。

災害テレフォンサービスは、「881-0119」に電話を掛けると市内のどこでどのような災害が発生しているか聞くことができるシステムです。

※ 公表については了承を得ております。